

# 原発いらん！ 山口ネットワーク

2017年4月9日の報告

第352号

次の集り

2017年5月14日(日)14時  
場所 周南市総合庁舎2F  
ふれあいルーム

4月17日、柳井中祝島航路の船が新しくなり  
ました。

99年10月から柳井中祝島航路を走りつづけた双船  
船が古くなり、2017年4月17日、新しい双船の  
就航式が行われた。

村岡知事は式典に出席して、各港と祝島と訪問  
するはずだったが悪天候のため実現しなかった。

新聞記事です↓P⑤

偶然のことだったがこれはもし原発が事故が起る  
ても島の人々は悪天候であれば、避難できないこ  
とを知事が突然知る機会にもなったはず。  
村岡知事は上関原発計画について見直す方では  
ないと言いつづけているが、避難計画の最高責任  
者としてはどうなのか。

3月30日、広島地裁が伊予原発3号機(フルヤル)  
の運転差止の仮処分を申し立てを却下。  
判決文要旨です。↓P⑥

判決を受けて、原告団の声明文↓P⑥  
即時抗告原告団声明文↓紙面の都合は略。また、

○大飯原発3、4号差止めの樋口英明裁判長や、  
高浜原発3、4号差止めの山本善彦裁判長のよう  
な判決を期待していたのに、まるで逆。  
原子力規制委員長の田中氏でさえ「安全とは言え  
ないが、せめて」というような判決が出た。  
「原告団が提出した膨大な資料がもたらしたのだ。  
概にぞもしたんじゃない」という声も。

作製・印刷  
周防灘の自然を守る会



4月24日、佐賀県知事、本海原発3、4号再稼働に同意。  
30km圏内の多数の市町が反対する中、地元本海町と県議  
会が賛否の中間立場をきめた。

イベント情報はP⑧に。

3.25集会で東京の上関どうするネットの人からもち  
たチラシを見せながら、

風力発電・無補償で出力抑制(中国)の記  
3.16の「無制限・無補償で出力抑制(中国)の記  
事を見せ、「さっさと」だったのが、知らない間に「再生エネ  
特措法」が大幅に後向きに法改正されたのだ。

世界中が再生エネルギー拡大に向っている今、安全に  
逆まわりをはじめている日本の姿がこころにある。

↓P⑦

3.25上関原発を建てさせない山口県民大集会に賛同し  
て下さった皆様ありがとうございます。

報告とお礼のニュースを同封しています。

上関原発計画は今、予断を許さぬ状況です。これから  
も連絡をとり合える原発を建てさせないよう共に活動  
していきたいです。

ネットにつながっている方は「小中進のアプロ」を見て  
下さい。上関の状況を発信しつづけます。

その他「原発をめぐる動き、その他

●福島事故処理最大70兆円。日本経済研究センターが試算。

●東海村核燃料再処理工場、廃止に70年超費用。国民負担。

●小泉氏、原発ゼロへ新団体 ↓P⑦

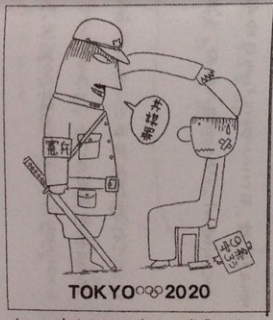
●汚染土公團利用検討会が了承 ↓P⑤

●原子力規制委員長に更田氏。

●核のごみ処分地 基準決定 経産省(4/5中口)

共謀罪反対。

え・橋本



(peoples News 17.4.15号より)



■例会の報告(4/9)

○参加地域 東広島、岩国、田布施、光、下松

周南、山口

○現地の様子

藩井、日代間の道路の拡張工事と、その一部々々のトンネル工事はどんく進んでいる。トンネルだけで約3億円という。元注者「中国電力」という表示板が立っている。

「生活道路だから作ってもうって結構」という意見があるが、中電の意図は住民の利便性を計ることはないだろう。

・大飯原発ができてから、あの半島では水が不自由で住民は困っていた。そこにきて「井戸を掘ってあげよう」と最初に行ったのが中国電力だったという話を、作業員水上勉さんが聞いたことがあつた。同じようなことはないのか。

白い展望台のある山に向えば風車を建てるためにさくさく山道を掘っている。

伊予でも、風力発電を最初につけて、それが原発建設につなげたといふことを、現地の人がうなづいたことがある。そう言えはる地帯の近くに風力発電がたつた人があるのは事実。

今は、確に原発工事に係る手ではないが、井戸などで土地がほとんど買収されていること、祝賀に中電が入る補償金の受取りをせよといふことを考へると、いっどつと攻めて来るかもしれないという気がする。

「上関原発はもうごまかせん」と言っているのは決して原発推進派。

○3月30日、伊予原発停止の仮処分判決が広島地裁で出たが、口惜しい結果になった。

その判決を見るとあれだけ渾身の資料を出したのに裁判官は自分判断せず、「福岡高裁宮崎支部の川内原発再稼働答認の判決にそつ」と言っていて、こんな裁判官はいらんと強く思った。

広島地裁判決の資料は↓P6

4月13日には広島高裁に抗告することが決つた。本訴はそのまま続く。

○高浜原発の停止が、大飯高裁でくつされた。

両方の裁判に共通しているのは、原子力規制委員会の出した規制基準をクリアしているから問題ないという立場。

規制委員自身も「安全とは言えない」と言っているものを裁判所が「安全です」と言うことは、福島事故以前の原発安全神話への回帰のお先棒を裁判が担うはじめてのこと。

あまりにもおどろきの。

それにしてもやはり裁判に負けることは痛手である。なにか裁判官を説得する方法はないか。

○オシドリマコ・ケンさん(本稿の執筆)と同時とします。面白くて、鋭い2人の話を聞こう。

○中村敦夫さん(元本稿の執筆)の一人芝居公演に広島で取り組んでいる。

山口でも連続でやれないか。原発問題を包括的にとりあげたとしても、脚本など、取り組みたい。

○風力発電は大切な自然エネルギーであるが、ヨーロッパ、中国アメリカなどところが地形が複雑で人口密度の高い日本ではいろいろ問題がある。

平生町の風車を止めたといわれているのさんの話を聞き、周辺の人に話を聞き歩いたり、だいたいの山の上で離れると全く別にならないうた。

上関に建てられる2基も、山の上で平面距離は1.5kmくらいで、大丈夫なのかと心配する声がある。

スペインのナバラ州というところに行った。そこでは首都バンプローナの山の上に32基の風車を建て、市民にアンケート調査をしたら、22%の人がよくない、83%の人がよいという反応。それで国立公園の際まで2000基の風車を建てた。渡り鳥が通る時にはアルバイトを雇って風車を止めるという対応をしている。

電磁波、低周波の影響には何人ともあるが、実際に被害を受けている人にとっては夜も眠れない、頭痛、吐き気がする、身体がむくむなど、本当に身体がボロボロになるほどひどいので、この点の留意は絶対に必要。



それと和歌山の例で言うと、山の尾根に建てる場合、広い道と、作業スペースと必要とするので、すさまじい自然破壊になり、山から動物の気配がもうの消えたところもあるという。

台湾では新しい法律ができ、南部では農地に必要は影をつくるように太陽光発電を設置し、その電気を農作物として売れるようにした。

台湾ではご存知のように、原発ゼロ政策を決めた。「台湾は一つしかない」「地球も一つしかない」だから放射能で汚染してはダメというところ……

日本も一つしかないのだが……

○1998年ケニアに行ったり、ケニアの文相は様々な文化活動にも補助金を出していた。

財源はなんとAEAだった。こうやって補助金を出し続けて10年くらいつづいたと云う(原発計画を持ちかけられたら、反対するのはむづかしいくなる……)

○来年(18)2月には県知事選がある。このまゝ村岡路線で行かせるには……

○つい最近右翼の街宣車が柳井に居を移して大音量で時々走りまわる。

流す音楽もジャズっぽかった。何かあるのか、何のユスリのマネでもあるのか……

○天皇のお孫さんの愛子さんの中学校卒業の作文がまばうしかった。今の政治家なんかよりずっとえらい。

自分の利益のことしか考えない今の政治家にはもうトコトンうんざり。

○昨年、山口県議会でも上関原発推進の決議が行われました。山口県民の大多数が上関原発は建設してほしくないと思っているのに、自民党公明党のワケの決議が提案と決議されました。

しかし多くの県民はこうした事実を知りていません。

それと直に知ってもらうためにワケの県議の選挙区を中心に事実を街宣して回っています。すでに、能毛郡、柳井市、周南市、宇部市を回りました。これから下関市、長門市、萩市、阿武町の選挙区を回ります。又、山口県議は、新庄健次郎(周南市)小泉利治(宇部市)岡村博二(宇部市)村哲也(下関市)高瀬利世(下関市)笠手俊也(長門市)新谷和孝(萩市、阿武町)です。

○この間屋久島に旅行したら港に灰色の自衛隊の船がいてびっくりした。

八重山、宮古島では戦争の準備が着々とすすんでいる。

今那国島には自衛隊がどっと来る。すると選挙があっても自衛隊員とその家族の票がすべて決ってしまうので、島の住民の意見は通らなくなる。

奄美、屋久島にも自衛隊の基地をつくらせている。

馬毛島は所有主の400億円を買い上げこれ

言っている。このまゝ周着艦訓練場にしようという話も。

先日、毎日新聞がスクープしたのが、米軍は1960年代にすでに「普天間」はせまい。艦船もつける深い海のある基地が欲しいと言っていた。辺野古は普天間移転のためではない。

○土曜日の屋久島の三反園知事は、今や原発に反対の人たちに会うことをしなくなつたと、先日向原さんから聞きました。

○先日、ふらふらと小白水第一郎氏の話を聞いた。彼は本気だ。

講演の内容からは原発ゼロをめぐるといふところとそれと一点に集中している。

### 裁判のこと

○上関原発用地埋立禁止住民訴訟(山口地裁)

2017年6月14日(水)午前11時

○伊方原発差し止め訴訟(岩国支部)

2017年6月23日(金)午後3時

○公有水面埋立禁止(山口地裁)

2017年7月5日(水)11時

○自然の権利裁判(山口地裁)

2017年7月5日(水)11時30分

○4月12日、上関原発用地埋立禁止住民訴訟について、傍聴席がいっぱいになったが、判決にはならなかった。裁判長が代った。田川弁護士も法廷に新裁判長があらわれ、代ったことを知ったという。



女性の裁判長で、福井美枝氏。

田川井護士「裁判長が受けたこと原告の思いを伝えたの、10分間の陳述をした」

母の中山井護士「どんなものかは要らない。もう今日結審してよい」

福井裁判長「次回原告の話を開きよう」

田川井護士「今回我々が情報公開された埋立延長の文書に於いて、なぜ違法かを指摘して出した書面に対して、被告が4月3日付で出された文書は非常に高圧的で、木口島井を括ったような物言いだ」

中山井護士「手ごころさんだから当然然るが、どうも腹を止める。この人はともかくうまい」

(あとの説明会と感想)  
今回で19回目になる。裁判長としての任期は普通4年なのにもう3年が過ぎたのはなぜか。前任の桑原氏が現地検証に踏み切ったことに最高裁が危機感を抱いた。

最近福岡高裁那覇支部の裁判官が代えられて政府以上に政府よりの判決を出し、木口島の伊方原発差止め裁判でも2回目から裁判官が代えられ、これまで政府より判決が出た。

安倍首相は行政司法の長であると言った通り、行政が司法に手をつけようとする手ごころを、これぞ。自由と民主主義を共有するわれわれ、なんぞ海外でみえが切れるのか。

●傍聴者はほんのりばかりに合ったが、くじにはなう。せひ、くじになるよう傍聴に駆け付け下さい。

○4月19日、公有水面埋立差止め裁判と自然の権利裁判。こちらも同じ福井美枝裁判長。2つ4裁判の併合と原告側が申し出。原告の井護士は反対。

次々回くじには証人尋問になるのか。併合になれば山戸泉天氏を証人にする。併合になりないう場合は、それだけに、祝賀の中村隆子さん、熊本さん、今井さんなど証人申請する。

報告会で中島県議より、議会が何れも何れも「上岡原発計画は重要電源開発地区に指定されているから、見直すことはできない」と原告は強弁する。埋立可能な権限は知事にあるのに、どうして大田知事が自治権を放棄して県民を危険にさらすのが今の山口県のか。福井裁判官が、埋立は認められぬと主張されながら。

●傍聴席40に対して46人の希望があくくじになった。

○4月21日、伊方原発差止め仮処分。

非公開の島根(第一回)だったのに、井護田の説明による。

井護田は、河合弘之、小沢克介、田畑、平岡秀夫、中村寛、小森、山本直。

3月3日に申し立てをした。今日、田畑電力はそれに対する答弁書を出してきた。その中で、328の高浜原発の仮処分取り消しと330の六島地裁の判決に抵触している。

まだよく読んでいないが、申し立て人は皆遠くに住んでいるので関係ないと切りつけている。

これからの裁判のすゝめの方についてはまたスキャンルが立たない。

●同日に行われた早坂孝隆氏(山形大)の話は衝動だった。これまで伊方原発から数km沖を通るとされてきた中央構造線は伊方原発の沖60mのところを通っている。海底から見上げれば伊方原発は切り立った崖の上にあり、状態が悪く地震が来れば敷地もろとも海底にすべり落ちる可能性があるという。

この学説は筑波大名誉教授小松正幸氏(4)との共同研究で2016年9月の地質学界で発表された。まだ地質学会の定説にはなっていないが、速からず定説になるだろうとのこと。

その他、GPRによる四国・中国九州北部の地震移動を見るとき地震のエネルギーがかなりたまっているそうとこわいと思つた。

東南海・南海地震がいずれ起きることが確実視されているのになぜ伊方原発を動かすのか。

電力会社の論理は「金だけ、金だけ、自分だけ」だ。

●人も救わないこの国の政治とお金(2)pp8  
保六所はどきどきのになぜリニア新幹線は着工できるのか。安倍首相は外国に行くにせよあれほどお金をばうまけるのか。

奨学金はなぜ金と同じことになるのか。

2月9日報告にも載せましたが、この国のマヤ算の5分の4は特別会計にまわされて、国会を通らないで勝手に使われていて、正しくないと言いたいなら国会で審議される一般会計(1)pp9  
2017年の予算で言えば一般会計は4兆兆円、特別会計は1兆兆円もあり、これでもまだ足りない税金です。(2)pp9(10)



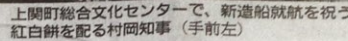


## 知事の祝島訪問中止

建設予定地の西約4  
わいの祝賀、新造船に  
たいに基港にた村岡  
知事を迎え、船着き場  
でお披露目し配りを行  
する予定だった。だが  
昼にかは、暴風雨で足  
が滑り、中止の憂ひに  
放逐が流れ、餅は祝賀  
公民館で配られた。

「福島県庁庶務の事  
務後、原長」の恐怖は  
消えない。知事には連  
続した。漁業勇性  
村岡知事は昨年8  
月、中電申請してい  
た建設予定地の海域を  
埋め立てる免許の延長  
を許可した。祝賀住民  
はこの判断に強く反  
発。また、祝賀の漁業  
者は免許の取り消しを  
求め、県を手に山口  
地裁で係争中。

住民は今回、祝賀の



日長20・6分 幅5  
・1層のアルミニウム  
合金製の単胴船で、速  
力20ノ。乗客定員はこ  
れまでの双胴船「いわ  
い」と同規模の75人  
が、昇降機も備えたバ  
リアフリー対応となっ  
た。建造費は約2億8  
千万円。

式典には、村岡副政  
知事たちが出席。運航  
する上関駅・蓮ノ関町

(井上龍太郎)

統建業「襖掛」を見て  
 もう考えたのだ。祝  
 島自治会の木村力次。祝  
 長69は「いろんな意  
 見はあると思うが廣発  
 の話をする場ではな  
 い」と説明。「来れば  
 鳥を好きになつてもら  
 えたのでは」と惜しん  
 ぶ。

栗幹部は「純粋なおお  
 祝い目的」と、知事訪  
 問を予定した理由を強  
 調した。村岡知事も式

った乗船して各港を訪ね  
祝賀を共有した思いだっ  
た。祝島は初めての機会だ  
ったし、行けなくて残念だ  
。祝島から（上）関原発建  
設計画「予定地の距離を確  
認する狙いも兼ねていまし  
たか。

それはない。以前から原  
発については町で議論され  
た町の方向性を踏まえ、対

—祝島へ住民には知事の訪問を希望もありました。今回の騒ぎがあるのですのでに於て民と個別に会うことは考えていない。

—祝島を後、視察に訪れる考えは。

町から話が来れば対応するかもしれないが今のところはない。

こんな大変なことが国会での議論もな  
決まるのか？ 検討会って何だ？  
11月28日 堀  
汚染土公團利用  
検討会が了承  
了承したって、誰が？  
私たちは許さない。

環境省の方針だと、東武池袋線「原宿」駅力免所事故に伴い、除染で汚染土の処分方法を検討する有識者検討会が、汚染土を掘削などして造成した土地は公園などに利用できる。汚染土の処理に十分なコストがかかる程度か否か。住民などの被曝（ひばく）を心配していた。











# 被災者への目線希薄

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原発事故発生から6年がたった。福島県が3月まで自主避難者への住宅の無償提供を打ち切るほか、飯沼村など複数の自治体で避難指示が解除される予定だ。福島原発事故を巡る行政の対応に詳しい福島大行政政策学部の今井照教授(63)に福島県や国が進める「復興政策」への評価や今後の課題などを聞いた。

「自主避難者への住宅の無償提供を打ち切る福島県の判断をどう見ますか。」

「まず思うのは避難している人も福島県民であるという点を、組織としての福島県は忘れていて、自分たちの利便を優先しているのではないか。自主避難と言っても、その背景には原発事故がある。新潟県など全国どこに避難してようと

## 「復興政策」の評価と課題

今井照・福島大教授に聞く

も福島県民とは思えず、フォロワーするのが当然と思う。そうした姿勢が福島県庁からは見えてこない。」

「自主避難者に対する住宅支援の費用は、数兆円に及ぶ除染費用などに比べれば決して多い額ではない。お金がかかったとしても国や県に請求すると言えた。制を(原発事故)そのま

はしたが、それも『帰還すべきだ』という自分たちの一方的な判断で打ち切ったことは責任を問われてしかるべきだと思う。住宅の無償提供は災害救助法を「法的根拠」として使ってきた。『自然災害』



## 生活再建 東電、国は責任を

「2020年の東京五輪を一つの目標にしている。『事故の原因は、世界から目を離れて、世界から目を離れて、世界から目を離れて』という発想からスタートしている。無償提供の打ち切りも東京五輪までに避難者を『見えなくする』のが狙いという見方ができる。」

「再移動の話を聞くたびに、信じられない気持ちになる。科学的に説明されていない低線量被曝は、有さなくてもいいことを感じている。福島第一原発の廃止作業の終了時期はみえない。(事故による)健康への影響も科学的に解明されてはいない。少なくとも福島の問題を解決して、次のことを考えるべきではないか。」

「一方、新潟県をはじめ、区域を除き、福島県内の復興の自治体で避難指示が解除される見込みです。」

「避難指示が出ていた区域の人たちも帰還しなれば自主避難者になる。重要なのは、自主避難者が避難先であつても、事故前と同じような生活ができるようにするのが本来の事故の賠償だ。」

「事故の原因は、世界から目を離れて、世界から目を離れて、世界から目を離れて」という発想からスタートしている。無償提供の打ち切りも東京五輪までに避難者を『見えなくする』のが狙いという見方ができる。」

「再移動の話を聞くたびに、信じられない気持ちになる。科学的に説明されていない低線量被曝は、有さなくてもいいことを感じている。福島第一原発の廃止作業の終了時期はみえない。(事故による)健康への影響も科学的に解明されてはいない。少なくとも福島の問題を解決して、次のことを考えるべきではないか。」

イベント情報		
5月3日(水) 13時～ 山口市民会館小ホール	2017憲法を学ぶ山口集会 演題「憲法70年、私たちは何を望むのか」 講師 石川康宏さん(神戸女学院大教授)	憲法を学ぶ市民の会・やまぐち Tel, FAX 083-972-2402(金澤)
5月10日(水) 午前11時40分～	朝鮮学校への補助金を復活せよ 山口県庁座り込み!	山口県補助金対策委員会 Tel. 083-223-9355
5月13日(土) 下関市リサイクルプラザ	映画「日本と再生」 ① 11:25～13:05 ② 14:00～15:40 ③ 13:00～14:40 ④ 14:00～15:40 ⑤ 14:00～17:00 ⑥ 14:00～17:00 ⑦ 飯田哲也・小川仁志(山口大)	74-2-70やまぐち5生1品 0836-54-1105 (株)C.GREEN(城下) 080-8230-7011 市民エネルギー1225(株) 090-2003-1086
5月14日(日) 18梅光学院大学 梅ヶ丘キャンパス	原莞いらん、山口ネットワーク例会 14:00～17:00	0820-55-6291(山中)
5月14日(日) 周南市総合庁舎2F ふれあホール	あしびく マコケン 奮闘しつとん1225 18:00～20:00 800円	Tel. 0834-22-8552
5月19日(金) 徳山保健センター	カリエンテ山口 14:00～16:00	Tel. 083-922-2792
5月20日(土) 北九州市立商工貿易 会館2F多目的ホール 15時～18時	① 辺野古土砂搬出及対応全国連絡協議会 学習交流集会。500円 ② 「辺野古・高江の基地建設とやんばるの森の 世界自然遺産登録は両立するの？」 講師 榎田 國俊(沖縄大名誉教授) ③ 「生物多様性から見た辺野古土砂問題」 講師 湯浅 一郎(辺野古土砂全協顧問) ④ 特別報告 「辺野古新基地建設と港湾労働者の 立場」 米谷 金次郎(全国港湾労働組合 委員長) ⑤ 質疑応答と榎田 國俊さんと湯浅 一郎さん トーク	080-1730-8895(八記)
5月27日(土) 山口県小野田市民 文化ホール	福島みずほ参議院議員 14:00～ 資料代500円	山口県小野田市民の会 山陽小野田 協議 総会の行動や私生活 うハ 森 Tel 090-1804-8484 ⑧



体長2.5mm  
ム アルゼンチンアリ

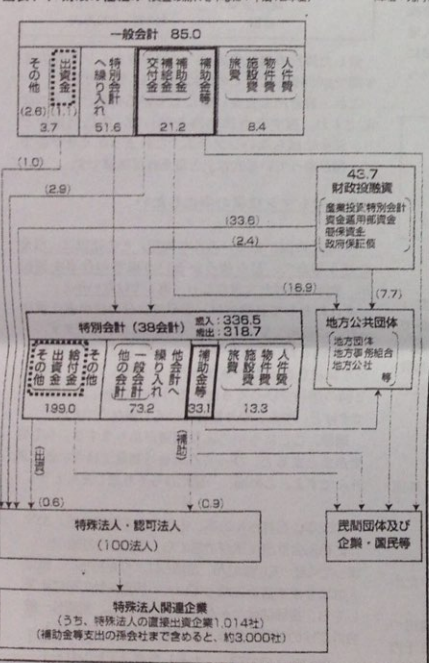


## 目からウロコの“特別会計” 『日本が自滅する日』 予算の大半が補助金に使われる国—石井純基

前回に続いて、石井純基著『日本が自滅する日』の第4章、「50兆円をバラ撒く補助金制度」について紹介します。その前に、下記の図表第1章にある「財政の仕組み」(2000年度)の図をご覧ください。

この中の補助金(注: □の枠)に注目して下さい。補助金が一般会計からも出ていますが、特別会計からも出ています。その合計は2000年度で21.2+33.1=54.3兆円です。本文にあるように、「負担金や給付金、出資金」なども補助金だとすると、**図1-1**で開いた分も補助金になります。およそその国のお金の流れ、財政の仕組みが分ったでしょうか。

図表1-1 財政の仕組み (資金の流れを中心に、平成12年度) (単位: 兆円)



石井純基著『日本が自滅する日』35頁

石井さんは、「補助金をもらうところでは、三つの帳簿を作っている」とされています。まるで脱税屋の帳簿ですね。

### 50兆円をバラ撒く補助金制度

#### 国民のカネで国民を潤い込む制度

我が国の予算の中で、「補助金」は約50兆円である。50兆円と言えば1年分の国税収入を超える金額だ。わが国の予算制度の基本は、政府が税金と郵便貯金や年金の積立金等を用いて行う「補助金」の配分である。他の先進諸国のように、国民のために、主に福祉や教育、医療、治安、防衛に必要な事務経費だけを使うのではない。同様に、地方自治体がそれぞれ独自の徴税をし、徴税の範囲内で必要に応じて使うのでもない。

後で見ると「公共事業」予算も30兆円であり、その大部分が団体への補助として配分されることを考えれば、わが国では予算は**大方、補助金として使われている**といえる。

法律によれば、「補助金」とは、補助金、負担金、補助金、給付金、地方交付税交付金、援助金、国際分担金などがそうであり、給付金とは交付金、給付金、委託費、助成金などである。出資金や資本金も明らかな補助金である。

国・地方から「補助金」を受ける団体・企業などは数万(社)にのぼる。業界などを通じて間接的に補助金の「恩恵」にあずかる企業・団体はざっと200~300万(社)に達している。

平成12年度一般会計の「補助金総額」は「国際分担金」の2400億円を除いて20兆7000億円。ODAの援助金を含めると20兆9400億円となっている。同じく「特別会計」の方は7兆円。「地方交付税交付金」を含めると「特別会計」全体で29兆9000億円である。したがって平成12年度の「補助金」の総合計は約51兆

円となる。これに特殊法人、認可法人が独自に支出する「補助金」を加えると、全般的な補助金はさらに、10兆円程度は増えるだろう。……

少なくとも旧通産省だけであわせて数十万社という企業に対して直接間接の支援を行っているのだから、お金をもらった企業側としても役所に頭があがる訳がない。首輪で繋がれている状態といつてよい。

こうして企業はいつも政治家を通して要望し、役所の様子を見ている。家畜や池の鯉のように常にお役人の一挙一投足を見守り、新しい「事業予算」や「補助金」情報があれば政治家を介して瞬時に跳びつくのである。それが多くの企業のビヘイビア(注: 振る舞い)である。

通常多くの特殊法人、公益法人、地方公共団体などは一般会計、特別会計の両方から補助金を受け、二つの予算書を持っている。行政機関の財務に投資的ビジネスを合体させることは憲法や財政法にそぐわないからだ。正確には彼らの団体は少なくとも**二つの予算書を持っている。「一般会計」と「特別会計」、もう一つは、二つを合体させた実際の運営のために公にできない予算書**なのです。

#### 集金、集票の道具

このように「補助金」が広くビジネス領域に行きわたるとことは一見政府が企業の経済活動を助けているように見えるが、じつは政治との主従関係を決定付けることになるとともに、政治が経済の本来的機能を代替するものになる。

俄然、政治家の「顔」が大きな役割を果たす世界が出現し、ビジネス界が集金と集票、天下りの道具となり、経済そのものが機能マヒに陥るのである。

国の予算を補助金で編成するということは、国民を縛ることに繋がる。与党議員にとっては、政治献金を召し上げ、票を確保する道具となる。

この国で支配的な民意は、お上の恵みへの「要望」である。地方の人たちにとってみれば、政治家の顔はカネの力を連想させる。政治家は、乾ききった地方経済の大地に、補助金という恵みの雨をもたらすことのできる魔術師なのだ。

以上、「憲法や財政法にそぐわない」特別会計は、公(おおよけ)にできないカラクリがあって、三つの帳簿が必要だったのです。ヤクザじやあるまいし、本当にとんでもない話です。

日本は日清・日露戦争でも、日中・太平洋戦争でも「臨時軍事費特別会計」を作り、戦争をしました。

9年間の太平洋戦争で使った戦費は、一般会計の90年分にも相当する莫大なものでしたが、そのお金は、1938年から始まった国を挙げての貯蓄奨励運動で集められ、それで戦争をしたのです。

アメリカの国力が日本の約8倍という冷静な分析は焼き捨てられ、勝てる見込みの全くない太平洋戦争でした。

国民が政府のお金の使い方に無関心なまま、すっかり騙され、愚い目に遭った国民。

それでも特別会計は、戦後もほとんど話題にもならず、ひっそりと生き続けてきました。

戦後は戦争ではなく、特別会計は国会議員や官僚の既得権益の庫裏になってしまいました。

1993年に国会議員となった石井純基さんは、その権限を使って特別会計の実態を暴かれた功績は大きいのですが、そのために2002年に解任されたのではないかとされます。以来、特別会計には誰も

怖くて手が出なくなったのでしょうか。

2003年に、国会で、堀川財務大臣が言った「母屋(一般会計)でおかゆをすすり、離れ(特別会計)でスキ焼」のたとえ話で、特別会計は大きな話題になりました。2007年に特別会計の改正法ができて、特別会計の数は、2000年の38から2015年には14と半分以下になっていますが、金額は一般会計の約5倍のままで、はて?

今朝も東京新聞は一面で、保育園の待機児童問題を扱っています。「保育難落ちた」4万1000人! (南関東33市区)と。インターネット署名では、「1.4兆円で待機児童をゼロにできる」と訴えています。これ、今年度の当初予算240兆円からすると、真にそのような「たったの1.4兆円」です。これだけで、待機児童が解消されるといふのに、この問題は半世紀前からずっと、解決されていません。なぜでしょうか。子どもに選挙権が無い、なんて理由は通用しません。やっぱり、あまたの男性が「女、子どもなんて」と馬鹿にしている限り、この問題は続いていくのではないのでしょうか。

ここは一つ、あまたの女性が「女・子どもの問題」や「特別会計の問題」に目覚めて、たたかて、勝ち取って行くしかないと思います。



画像4 江戸東京博物館所蔵 (アジダッタギャラリー)

★  
アシダッタとは、サンスクリット語で、寄せられたくない、殺したくないと言った意味です。





ところで、去年の3月に「目からウロコ」に載せた山本太郎議員の講演、「こんな生きづらい世の中、一緒にひっくり返しませんか!」には、保育園だけではない、若者の深刻な苦しみが見え隠れしています。その中からもっとも、政府のお金の使い方に関係する問題を次に再掲します。

★

# 山本太郎参議院議員トークイベント・和歌山 こんな生きづらい世の中、 一緒にひっくり返しませんか!

2016年3月19日(抜粋)

じゃ、会場の皆さんの質問や意見を受けて、お話を進めていきます。どうぞ、何でも言ってください。

## 質問：議員になって実現させたいことは、何ですか?

山本議員：僕がどういふ世の中を目指したいのか。ざっくりいうと、「多様性を認める社会にしたい」と。いまみなさんは、自分が社会から必要とされていると思っていますか。

世の中はそうはなっていないんです。存在する理由が必要なんだとか、生産性があるとか、生きている価値があるかって。

じゃあ、何も生み出さなきゃ生きていちゃいけないのか、って言う話なんですけど、そうじゃない。ただ生きているだけで価値があるんだ。そう思えるような社会にしたいというのが僕の夢です。

## 政治の仕事は、税金の配分の仕方

最低限の生活が当たり前に出来るような社会。それを実現するためには、そんなに難しいことじゃないんです。

税金をどう集めて、どう使うか、これを考えるのが政治なんですけど、そう考えると、いまは残念ながら税金は搾り取られるだけ搾り取られるけど、みなさんに分配するときには、みなさんは国にとってコストですから、そのコストをいかに減らせられるかということをやっているんですよ。

そうすると、お金のかかるところは削られる、というところが一番多いんですね。

でも一方で、漏水のようにお金が使われる部分があるんですね。それは自分たちを議員にしてくれた、自分たちに政権をとらせてくれた、そういう支援者に対して、いかに税金を横流しするかということが、いまの政治のメインテーマ(主題)なんです。

## 人間を切り捨てる政治は、知らない

自分自身が「なるほど、国というのは、政治という

のは、人間を切り捨てるんだな」というのを初めて気がついたのは、福島原発事故だったんです。

なるほど、安全基準を怠ったことを無視して、(大事故が起きたら)年間1ミリシーベルト以内に抑えていた被ばく量を20倍にしようとした。これ、切り捨てですよね。完全に。

人間に対する(被ばくの影響の)因果関係ははっきりしない、はっきりさせることが難しいから、逃げ切ろうとしているんだと。

それによって人を守ったり、予防原則を国が取らないのは、もう、一人でも多く切り捨てることを宣言したわけですよ。それに気づいたとき、自分はびっくりしたんです。まさか、自分が切り捨てられるとは思わなかったんです。

国はコストとなるものは、それが国民(の命)であっても、どんどん切り捨てていくんだと。そんな国だったら、もう存在しないほうがましだろうと思うわけです。

何のために政治家や官僚たちを食わせているのか。その人たちが国民に対する奉仕という仕事を放棄して、自分たちの取得権益を考えているだけなら、そんな国は、もう必要ないって思うんです。

## 経団連が、「消費税を19%にしろ」

消費税を19%にしろって、みなさん19%になっても大丈夫ですか? 消費税、1989年に3%、97年に5%、2010年に8%となって、また年々上げるという話。法人税を安くする。安くしたら国の収入が減る。減った分は消費税でみんなから取ればいいじゃないか、っていう話です。

## 企業の内部留保が354兆円!

法人税が高い、高いついていますが、法人税を安くするために、88のスペシャルメニューがあるんですよ。これを利用してのが、半分以上、資本金が100億円以上の大企業だと。

自分たちで溜め込んだお金、内部留保が(2014年度から)354兆円もあるんですよ。

企業がもうけなきゃ雇用があがらない、賃金が上がらないって、ずっと言っていたけど、実際は、上場企業は2年連続最高のもうけを出しています。アベノミクス、ピンピンしている。

(※「2016年国民生活白書」(全労連・労働)543兆円に)

## 正規雇用と非正規雇用

でも、コストダウンで働く人の首が絞まるようなことが、国会でどんどん決まっています。

安倍政権になってから、正規雇用が36万人減って、

非正規雇用は187万人も増えています。

これ、どういうことかという、正規と非正規と二つの働き方で、正規で平均473万円くらい、非正規で168万円くらいだと。でも同じような仕事をしているんだと。どっちが得? (企業には)安いほうに決まっているんですよ。

## 失業が前提の非正規雇用

正規・非正規の賃金格差(1年)			
	平均	男	女
正規	473万円	526.6万円	356.1万円
非正規	167.8	224.5	147.3

しかも安いほうの非正規は、失業が前提の雇用のされ方なんです。いつ首切られてもおかしくないんだ。

そんな働き方を暴発的に増やして、企業のための政治をやっている。安倍政権は。

## ワーキングプア

年収200万円そこそこのワーキングプアが、安倍政権になったら2年間で男性が49万人、女性が41万人増えたと。女性のほうが賃金が安い。しかも安倍政権になって賃金が8万円も格差が広がったんだと。これって、ムチャクチャじゃないか。やっていること。

男女の平均賃金の格差		
	2012年	2014年
男	502万円	514.4万円
女	267.8	272.2
格差	234.2	242.2

アベノミクスの2年間で、男女格差が8万円も拡大

## 増えた貯蓄ゼロ世帯

ぎりぎりの生活をしている人が多く占める国になってしまったら、経済活動どうなりますか? 貯金ができない人が31%。これじゃ消費などできないですよ。働くだけ働いて10数万円。これで家賃、食費、光熱費なんか払って、残るか? 残るわけがない。都会では若者たちが家さえ借りられない。

## 労働法の改正

経団連の提言をみてください。派遣法の改正。外国人労働者、そのほか労働者ゼロ法案も。

## 児童扶養手当を倍増

7月には参議院選挙があるんで、自民党はそのためのアメをいくつも用意しています。

例えば、児童扶養手当。2016年度の予算で28億円つけて、1人目は5千円から1万円に、2人目は3千円から6千円に倍増すると。「エエツツ、倍にしてくれ

るの、ラッキー!」って。でも、相手は詐欺師ですから、困るんですよ。

どういふことかという、2013年から15年までの3年間で、約51億円も回ってたんですよ。だから、選挙が終わっても倍のままでいいと、また削られる可能性もあるんです。

## 奨学金の貸付は、まるでサラ金

奨学金の一害の問題は利息を取られるということですが、安倍さん、これを無利子にするといいました。でも、2015年の新規の奨学金貸与者87万人の内、無利子にしたのはたったの8,600人で、1%でした。これ、みなさんのことを、完全に忘れてますよ。

それから、奨学金の返還新設が激増しています。2004年に58件だったのが、12年には6,193件です。これは延滞金や利息の取り立てです。

奨学金	
2014年度 利息収入	378億1,200万円
延滞金収入	40億6,800万円
合計	418億 800万円

貸した銀行の利息収入は、2012年度から14年度の3年間で1,050億円、この間に60億円も増えてます。

これ、若者たちを食い物にしている貧困ビジネスなんですよ。返すときは延滞金からで、次に利息をとり、元金は減らないシステム。これまたサラ金です。国がやっている武富士と考えれば結構です。

## 少しでもマシな世の中にしたい

いまこの国にあるいろんな問題。その原因は、税金をどう集めて、どう使うかという政治の仕事が国民が、放置し続けた大きなしっぺ返しではないかと。

それに対して経団連は、選挙で自分の代弁者を送り込むのに必死でやっていて、本当に成功しています。

市民側もね、これをやっているかなきゃ。少しでもマシな状況を作っていくしかない。……難しいし、1回や2回の選挙でひっくり返せる世の中じゃないと思うんですけど、でも、やり続けていくしかないです。

選挙。ここにもいろんな問題がありますが、もし野党がまとまると、ひっくり返せる制度ではないかと思うんですよ。この国、一緒にひっくり返しましょう!

★

2002年の石井さんの本、去年の山本議員の話、2007年「特別会計改革法」ができて、国の税金の使い方は、まったく変わっていません。金持ちはより金持ちに、貧乏人はますます貧乏になっていく。特別会計の額は半減しても、金額はほとんど変わっていないし、新聞も一般会計だけの予算を報道するばかりです。(つづく)

2017年3月27日 ちらし作成「アヒンサー」

